

# 函館まちなか美術館 五稜郭編 ~撮ったり、とりに座ったり、あなたの小さな友達パブリックアート~

所要時間 **70分** 距離 **1.7km** 消費カロリー **210kcal** ※消費カロリーはおおよその目安です。



**田家町** ハーモニー、記憶の中の風景 函館市中央図書館

**五稜郭町** 五稜郭タワー

**柳町** 道立函館美術館

**本町** 五稜の星

**杉並町**

**梁川町**

**五稜郭公園前**

撮影オススメポイント!!

- 喫茶・休憩
- おみやげ・売店
- 食事処
- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場
- バス停

最寄りの交通機関  
・市電「五稜郭公園前」徒歩20分  
・函館バス「中央図書館前」徒歩1分

冬期間行われる五稜星の夢(ほしのゆめ)イルミネーションは、タワー展望台から見るのがオススメ。

市内有数の桜の名所で、約1600本のソメイヨシノが五稜郭公園内外を彩ります。

7月上旬～8月上旬まで市民創作函館野外劇が開催されます。多くの市民がボランティアとして参加しています。観光客の飛び入り参加も歓迎されます。

友われに飯を与へき  
「友我に飯を与へきその友に背きし我の性の悲しさ」北海道＝キタキツネ、エゾリスという組み合わせ。 (作:藤原吉志子)

## 1 五稜の星



北の地で、特別史跡五稜郭跡とともに輝く都市それが函館。遠い時空の彼方から光を投げかける星を、現代函館の空間と重ねたイメージで作品を製作。(作:小田薫)

## 2 ざっと手を見る



「はたらけど、はたらけど猶わが生活楽にならざりざっと手を見る」(石川啄木)ヒグマとクマゲラという北海道そのものを入れ込んだもの。(作:藤原吉志子)

## 3 ぼくたちの旅



あの空の向こうにぼくたちの未だ知らない広い世界がきっとある。(作:峯田義郎)

## 4 二人の空



鳥たちのように流れる雲のように大空を翔けるぼくたちの夢(作:峯田義郎)

## 5 薬(ひこばえ)



薬(ひこばえ)とは、切り株や根元から生えた新芽のこと。“あたりまえのような奇跡”そのようなものを感じて欲しい。(作:川上加奈)

## 6 たまごをうんだ人



人はたまごを生む。かたちあるもの、ないもの、様々。もちろん中身も人それぞれ。一つ一つが大切に育まれることを願う。(作:川上加奈)

## 7 若き星たち



官軍・幕府軍の若い無名の戦士が日本の未来への夢を託して戦った、その熱い情熱とエネルギーを明るいイメージで凛々しく表現。「若き星たち一戦火をこえて若き星ふたつ未来の空にまたたかん」(作:小野寺紀子)

## 8 北海道立函館美術館



昭和61年開館の北海道で4館目の道立美術館。道南地方に縁の深い美術作品を常設展示しているほか、海外の美術館と連携して年数回の特別展も開催されている。  
開館 9:30～17:00(入場は16時半まで)  
入場料 大人170円  
休 毎月曜日及び祝日開館に伴う振替日、その他

## 9 ハーモニー



平和への願いと、文化を大切にすゝる気持ちを込めて製作された。(作:小寺真知子)



図書館内から、ガラスを通して木々の間に彫刻が見え隠れし、見る側の想像力にふくらみを持たせる。(作:斎藤史門)